

『果実日本』第七七巻総目次

二〇二二年

数字の読み方 ① Ⅰ Ⅱ 一月号 一 ページ

私の主張

果物と向き合う
 今、必要とされる菓子職人と農家との関係性
 青果物価格のインフレ目指して
 ミカンで健康長寿
 消費者を巻き込んだバリューチェーンの実現
 新たな需要の構築にむけて
 品種に勝る技術無し
 干し柿の思い出を噛みしめて
 技術の普及に向けて
 農業の楽しみ方
 果樹農業と農作業安全
 中国系社会への果実の輸出拡大で思うこと

中川	たま	①	1
平岩	理緒	②	1
富田	雄一	③	1
下方	浩史	④	1
宮井	浩志	⑤	1
三石	誠司	⑥	1
笹川	辰朗	⑦	1
島谷	博幸	⑧	1
生駒	吉識	⑨	1
原野	博	⑩	1
気多	正	⑪	1
浅見	淳之	⑫	1

特集

一月号

最近の優良品種の動向

農研機構果樹茶業研究部門における品種開発と最近の優良品種

阿部 和幸

和歌山県における品種育成と最近の優良品種

井口 豊・有田 慎・堀田 宗幹

愛媛県が育成したカンキツ品種と最近の動向

岡本 充智

青森県における品種開発と近年の育成品種

後藤 聡

山形県におけるオウトウの品種開発およびオウトウ新品種「山形C12号」

多田 史人

山梨県におけるブドウ、モモの新品種開発

手塚 誉裕

長野県における品種開発と最近の優良品種

前島 勤

岡山県における品種開発と最近の優良品種

藤井 雄一郎

果実の着色促進技術

温暖化が果実着色におよぼす影響と対応技術

カンキツ果実の着色向上技術

リンゴの着色向上技術

ブドウの収穫後の着色促進技術

赤果肉リンゴのメカニズムと特性

リンゴの収穫後着色促進技術

ブドウの温度管理と台木利用による着色向上技術

杉浦 俊彦	26
加藤 雅也	31
岩波 宏	38
東 暁史	43
松本 省吾	48
吉村 和正・本多 親子	53
高居 恵愛	57

赤色ブドウ品種「安芸クイーン」の光環境改善による着色向上技術

柚木 秀雄 61

三月号

果樹園の草管理の最新事情

果樹の雑草の生態と管理

浅井 元朗 26

果樹園で使用する除草剤の種類と使用方法

山本 義賢 31

柑橘における草生栽培の特性

吉川 公規 36

リンゴ園における草生栽培の効果と管理のポイント

澤田 一歩 42

山梨県におけるモモ園の草生栽培

加藤 治 46

クリの草生栽培

中村 健吾 50

除草シートで除草労力軽減

山本 輝弥・築地三知代 54

四月号

今年的重要害虫防除策

ハダニの薬剤抵抗性のメカニズム

刑部 正博 26

佐賀県のカンキツ害虫の発生動向と防除対策

衛藤 友紀 31

長野県におけるリンゴ害虫の発生動向と防除対策

石井 伸洋 36

モモ・クリ害虫の発生動向と防除対策

三代 浩二 40

今年の新シ害虫の発生状況と防除策

古井 佑樹 45

和歌山県におけるカキ・モモ害虫の発生動向と防除策

弘岡 拓人 50

福岡県におけるブドウ害虫の発生動向と防除策

伊丹 春衣 54

五月号

ウメ産業を展望する

ウメの品種動向と今後の展望

八重垣英明 26

ウメ「南高」の摘心およびカットバック処理による省力的な青梅栽培

土田 靖久 30

群馬県における「ウメ産地再生プロジェクト」の取り組み

渡辺 一郎 34

梅干しのフードシステムの特徴と動態

則藤 孝志 40

イチジク産業を展望する

高品質完熟イチジク流通技術の開発

小河 拓也 48

水稻育苗ハウスを活用したイチジク「榊井ドーフィン」のコンテナ養液栽培

堀川 拓末 54

「博多とよみつひめ」ブランド化の取り組み

進藤 嘉文 58

イチジクの市場動向

近藤 則茂 63

六月号

大規模経営と法人経営

果樹経営のビジネスモデルをめぐる戦略と課題ーミカンとリンゴを中心に

斎藤 修 26

世羅幸水農園の協業経営と六次産業化

細野 賢治 35

企業的果樹経営と六次産業化の展開ー愛媛県の農業法人ニユウズを事例に

宮井 浩志 40

(株)Citrusの人材育成の取組み

佐々木茂明 45

企業による直売型果樹園のスマート農業

児下 佳子 51

有田のミカン産地を支える六次産業化法人の実践〜早和果樹園の歩みに着目して
白坂 典枝 56

七月号

クリ産業を展望する

クリの品種動向と今後の展開
高田 教臣 42

クリ「ぼろたん」のジョイント栽培〜早期成園化・低コストの樹形管理
関 達哉 47

夏季の高温・少雨がクリの収量性におよぼす影響と対策技術の開発
荒河 匠 53

自動栗拾いロボットの開発
酒井 貴之 58

クリ・ドングリ林におけるクリシギゾウムシの生態
檜垣 守男 61

高電圧を付加した低温処理のクリシギゾウムシ防除・クリ果実の糖度上昇技術
佐藤 信輔 66

基本的な栽培管理の徹底・諸先輩方から受け継がれる販売戦略
篠崎 優 70

クリの市場動向
岡部 光成 74

八月号

気象災害に備える

最近の果樹の気象災害と災害支援事業
葛西 主馬 26

果樹の気象災害と対策
杉浦 俊彦 31

気候変動がリンゴの気象災害と生育・収量・品質におよぼす影響
伊藤 大雄 36

温州ミカンにおける気象変動の影響と適応策
中谷 章 41

山梨県における気象災害の発生動向と果樹栽培での対応策
熊王 広之 46

豪雨被害における柑橘園地の復興
大加田 聖司 51

九州北部豪雨から農業の復興・再建（ドリームファーム事業）への挑戦
原口 宏智 56

九月号

果樹園の鳥獣対策

鳥獣被害の現状とその展望
農林水産省鳥獣対策室 26

果樹園における鳥獣対策
吉田 保志子 31

果樹園における基本的な獣害対策の進め方
平田 滋樹 39

スマート農業を利用したクラス被害軽減方法の開発
板井 章浩 45

和歌山県における鳥獣害の現状と対策
門阪 好則 50

AIやIoTを活用した獣害対策の紹介（イノベーション創出強化研究推進事業の概要紹介）
山端 直人 54

AIにより餌付けを自動で制御する基礎システムの開発
江崎 修央 59

一〇月号

高収益果樹経営の実践

六次産業化への取組みによる高収益経営の実現〜大湯知己氏
岩館 聖司 34

愛知県のカキ専作経営で高収益を達成〜鈴木義弘・美有紀夫妻
山口 千明 39

新3K農業（効率化・軽労働化・稼ぐ）で高収益カンキツ経営〜熊本県天草市 小川夏生・哲子夫妻
轟田 純子 44

静岡県 柑橘・イチジク果樹園で高収益を達成し糖屋訓敏・宗伸親子

榮 隆明 49

山梨県のハウスブドウで高収益を達成し早川宏・比佐子夫妻

雨宮 秀仁 54

香川県のミカン果樹園で高収益を達成し唐渡康裕・三千子夫妻

中村 裕彦 59

大分県のハウスミカンで高収益を達成し木村房雄氏

矢野 拓 64

和歌山県のイチジクを経営主体とした高収益実現し勢田幸治氏

北尾 葉子 69

一二月号

地理的表示(GI)保護制度と知的財産

地理的表示保護をめぐる状況と今後の課題 内藤 恵久 26

知的財産管理と産地のブランド化戦略ーGI制度と地域団体商標をめぐる 齋藤 修 30

て 果実に係る地理的表示と産地結集ーブランド・エクイティとアウトカム獲得のための事業モデル 浅野 卓 40

わが国のGI保護制度における果実類の位置づけと登録の効果 森嶋 輝也 49

GI認証を活用した「山形ラ・フランス」のブランド化 會田 孝裕 53

GI認証を活用した「大分かぼす」の取り組み 山本 桂伊 58

一二月号

果樹台木の最新動向

カンキツの台木の特性と利用 深町 浩 26

リンゴの台木の特性と利用

清水 拓 30

日本ナシ「幸水」の幼木期における台木別の樹体生育特性

加藤 恵 35

カキの台木が果実の成長や品質におよぼす影響

鉄村 琢哉 40

岡山県におけるモモ台木「ひだ国府紅しだれ」の台木特性

鵜木悠治郎 44

カキわい性台木「豊楽台」の開発経緯とその特性

大畑 和也 49

連載

小売店訪問(39)〜(40)

ザ・フルーツショップ アトレ川崎店【神奈川県川崎市】 鎌田 修全① 5

フルーツギフト 足利屋【大阪府大阪市】 上野 卓彦② 5

植米フルーツ【愛知県名古屋市中】 白坂 典枝③ 5

矢山フルーツ【福岡県福岡市】 日園連④ 5

サンコーフルーツ平野南本店【大阪府大阪市】 上野 卓彦⑤ 5

フルーツショップセリーヌ【愛知県一宮市】 白坂 典枝⑥ 5

九州屋博多大丸福岡天神店【福岡県福岡市】 日園連⑦ 5

フルーツショップやまさく【大阪府枚方市】 上野 卓彦⑧ 5

フルーツとくなが【神奈川県横浜市】 鎌田 修全⑨ 5

大熊果実店【岐阜県岐阜市】 白坂 典枝⑩ 5

八百重商店【新潟県新潟市】 日園連⑪ 5

フルーツショップセリーヌ御園店【愛知県名古屋市中】 白坂 典枝⑫ 5

話題の品種 (316) ~ (324)

- スモモ「ふかさわ」 深澤 渉 ① 4
- ドラゴンフルーツ「インパクトルビー」 伊地良太郎 ② 4
- 三倍体カボス「大分果研6号」 野村 雄太 ③ 4
- 温州ミカン「植美」 井口 豊 ④ 4
- 緑色が濃く、貯蔵性に優れたスタチ新品種「勝浦一号」 津村 哲宏 ⑧ 4
- 日本ナシ「蒼月」 竹内由季恵 ⑨ 4
- 貯蔵に適する温州ミカン「春しずか」 曾根 悠介 ⑩ 4
- リンゴ「スパースター」 伴野 潔 ⑪ 4
- キウイフルーツ「さぬきエメラルド」 川北 兼奨 ⑫ 4

新・果樹産地探訪 (48) ~ (59)

- 鳥取県琴浦町のナシ振興〜担い手確保・育成に向けた琴浦梨生産部の取り組み 杉嶋 至 ① 8
- 群馬県明和町の日本ナシ産地〜地域を挙げた産地活性化への取り組み 町田 典之 ② 8
- 丸ごと食べられる「きんかん」の産地化〜JAはまゆうハウスきんかん専門部の取り組み 黒原 輝一 ③ 8
- 秋田県鹿角地域における果樹栽培 中村 佐之 ④ 8
- 小原紅早生を中心に果樹産地を守る〜坂出市 上原 佑介 ⑤ 8
- JAながさき西海における温州ミカン生産への取り組み 森山 直人 ⑥ 8
- 百年続く次郎柿産地〜愛知県豊橋市 山口 千明 ⑦ 9
- 沖縄県糸満市のパッションフルーツ産地化の取り組み 山城 清香 ⑧ 8
- 筑波山麓の温暖な気候に育まれた果樹産地〜石岡市 脇本 寛美 ⑨ 8

「大野の柿」を全国へ。大野町かき振興会の取り組み 伊藤 順一 ⑩ 8
 「アレキ」から「シャイン」でV字回復の軌跡〜JA晴れの国岡山船穂町ぶどう部会 石川 健二 ⑪ 8
 周辺環境に配慮したナシ生産〜東京都稲城市 原島 浩一 ⑫ 8

新品種の栽培技術 (312) ~ (315)

- カンキツ「静姫(しずひめ)」 曾根 悠介 ② 22
- カンキツ「あすき」 濱田 宏子 ③ 14
- オウトウ「ジュノハート」 山道 和子 ⑤ 18
- カキ「紀州てまり」 有田 慎 ⑨ 14

注目品種の栽培技術と留意点 (94) ~ (98)

- リンゴ「はるか」 渡邊 学 ① 16
- カンキツ「西南のひかり」 野中 圭介 ⑥ 12
- カンキツ「南津海シードレス」 西岡 真理 ⑦ 18
- カンキツ「みはや」 野中 圭介 ⑪ 14
- カキ「太天」 松崎 隆介 ⑫ 14

知っていたい、こんな品種 (123) ~ (125)

- 極わい性の日本ナシ品種「南勢チャボ」 竹内由季恵 ① 20
- 「かんきつ中間母本農6号」に魅せられて思うこと 北川 正勝 ② 18
- リンゴ「玉林」 澤村 豊 ④ 60

果樹の新技术・新発見 (321) ~ (329)

- リンゴ果肉褐変の効率的な評価法 清水 拓 ① 72

カンキツ「はるみ」の枝径を用いた新たな摘果基準 瀧下 文孝 ③ 70
ナシ自家不和合性遺伝子 遺伝資源から示唆されるリンゴとの類似性 今井 剛 ④ 74

リンゴの果肉褐変性を制御する染色体領域を特定 國久美由紀 ⑤ 70
カンキツのβ-クリプトキサンチン高含有化DNAマーカーの開発 藤井 浩 ⑥ 74

カンキツ用簡易土壤水分計の利用方法 黒瀬 義孝 ⑧ 76
効率的な加工用途向けリンゴ生産のためのカラムナータイプ樹の隔年交互結実方法 岩波 宏 ⑨ 74

携帯型分光計を用いた赤ナシ果皮地色の非破壊評価法 山根 崇嘉 ⑩ 80
根頭がんしゅ病抵抗性のリンゴ台木育成に関する研究の新知見 森谷 茂樹 ⑪ 76

果樹研究最前線 (298) ~ (307)

キウイフルーツ花粉採取用品種の特性 宮田 信輝 ① 88
酵素法によるブドウ果実の剥皮技術の開発 滝沢潤・尾崎嘉彦 ② 68
みつ入りリンゴの不思議〜果実内を流れる水の動き 田中福代・和田博史 ③ 62

スモモ「貴陽」の開花程度および受粉回数が結実率におよぼす影響 中野 葉子 ④ 64
温州ミカンにおける新たな土壤改良法による樹勢強化対策 江本 勇治 ⑥ 66

高性能冷蔵コンテナを利用したシャインマスカット長期貯蔵

福田文夫・河井崇・中野龍平 ⑦ 78

ブドウ「シャインマスカット」の短梢剪定樹における樹形改造による収量向上 塩谷 諭史 ⑧ 14

リンゴの果実変形の品種間差 田中 紀充 ⑨ 78
温州ミカンにおけるAI深層学習を活用した樹体水分ストレスの推定技術の開発と実証 須崎 徳高・白石和章 ⑩ 24

カキの受粉に野生のコマルハナバチが大きく貢献 加茂 綱嗣 ⑪ 66
果樹病害の最近の動向と防除策 (1) ~ (11)

広島県における落葉果樹類病害の発生動向と防除対策 森田 剛成 ① 12
熊本県におけるナシ病害の発生動向と防除対策 工藤 裕美 ② 14
山梨県におけるモモ病害の発生動向と防除対策 鷹野 公嗣 ③ 18

長野県におけるリンゴ病害の発生動向と防除対策 香取 千文 ④ 14
佐賀県におけるカンキツ病害の発生動向と防除対策 近藤 知弥 ⑤ 14
島根県におけるカキ病害の発生動向と防除対策 永島 進 ⑥ 18

栃木県における近年の日本ナシ病害の発生動向と防除対策 北原 智史 ⑦ 14
岩手県におけるリンゴ黒星病の一次感染の早期化と今後の防除対策 猫塚 修一 ⑧ 68

静岡県におけるカンキツ病害の発生動向と防除対策 石井香奈子 ⑨ 22
山形県における西洋ナシ病害の発生動向と防除対策 後藤 新一 ⑩ 14
島根県におけるブドウ病害の発生動向と防除対策 永島 進 ⑪ 20

果樹の六次産業化の実践 (38) ~ (43)

自然体験を取り入れた六次産業化(南福田フルーツパーク)の事例

橋本 芙蓉 ④ 18

長野県の信州ワインバレー構想と新規就農者の特徴／キャリアと農業との関係に着目して

白坂 典枝 ⑦ 88

非農家出身者の就農とワイナリー経営／たかやしろファーム・武田氏のキャリアパス

白坂 典枝 ⑧ 20

ワイン用ブドウへの挑戦と継承／栽培農家・佐藤親子の歩み

白坂 典枝 ⑨ 18

飲食業と農業の融合／坂城葡萄酒醸造(株)成澤氏・北村氏のキャリアと出会い

白坂 典枝 ⑩ 18

ピーチファーマーズビレッジの6次産業の取り組み(岡山市)

種市 豊 ⑫ 18

果樹の生理生態と基本管理(9) 佐藤 義彦

令和四年産ミカンの着花状況と生産対策 ⑧ 64

くだものマーケティング講座(99) ～ (107)

香りは果実の嗜好性にどのように影響するか? 徳田 博美 ④ 68

消費者に好まれる香りとは? 徳田 博美 ⑤ 70

果物流通の現状と新しい技術についてーイノベーションマーケティングからの検証 種市 豊 ⑥ 70

ミカンのビジネスモデルと経営戦略 齋藤 修 ⑦ 82

リンゴの技術革新と地域再生ー産業クラスターの可能性(上) 齋藤 修 ⑧ 72

リンゴの技術革新と地域再生ー産業クラスターの可能性(下) 齋藤 修 ⑨ 68

ブドウのビジネスモデルと地域の革新(上) 齋藤 修 ⑩ 74

ブドウのビジネスモデルと地域の革新(下) 齋藤 修 ⑪ 70

ナシの生産流通システムとビジネスモデルの可能性(上) 齋藤 修 ⑫ 58

海外果樹事情通信

果実の宝庫ーカリフォルニア 村田佳子・山田あゆみ ③ 66

缶詰よもやま話(25) ～ (36) 黒川 勇人

時代が変わるもの ① 82

古い缶詰は食べられるのか? ② 66

ごはんのプロフェッショナル ③ 60

ごはん缶詰の復活 ④ 58

缶界にレモンブーム到来! ⑤ 68

再現めし ⑥ 64

おふくろの味 ⑦ 22

幻の缶詰 ⑧ 62

代替肉の話 ⑨ 66

音楽と土とくさやの話 ⑩ 28

獣害と缶詰 ⑪ 64

フルーツ大好き! ⑫ 22

くだもの健康機能性を科学する(52) ～ (60) 小川 一紀 ① 92

腸内微生物 ② 92

腸内環境を整える

腎臓と果物

イチゴ

超加工食品

食べ過ぎると毒が変わる

朝食は抜かない方がよい

食事の頻度とタイミン

グ 血糖値が気になる

今月の、なんだかなあ

(216)

〜

(226)

伊関 二三也

新語・流行語大賞吟味

終わりの始まり?

成人式、理想と現実

掃除機余話

わが家の家電事情

四〇年前の春

社会の何だかなあゝな潮流

拝啓、エアコン様

今更ながらの勉強法

UFOの襲来(前編)

UFOの襲来(後編)

② 82

③ 76

④ 72

⑤ 84

⑦ 94

⑨ 84

⑩ 84

⑫ 62

あの時のこんな話 (179)

〜 (189)

山崎 誠

甘酒

競輪必勝法

赤い花

マスク再考

芸と人生

7(セブン)

戦争

明神牧場

PLAN 75

故郷(ふるさと)

少年漫画雑誌

くだもの歴史秘話 (60) 多田 一人

栄養学の歴史に輝くUCバークレー校のアグネス・モーガン

栄養研究の天才 エルシー・ウイドウソンの仕事ーその1

栄養研究の天才 エルシー・ウイドウソンの仕事ーその2 食品成分表の

中興の祖 栄養研究の天才 エルシー・ウイドウソンの仕事ーその3 もっとも成功

した大戦中の食料配給

ワトソン、クリック信者に無視されたバーバラ・マクリントック 動く遺

伝子の発見とその後の苦難(その1)

ワトソン、クリック信者に無視されたバーバラ・マクリントック 動く遺

伝子の発見とその後の苦難(その2)

① 96

② 84

③ 75

④ 71

⑤ 86

⑥ 78

⑧ 75

⑨ 83

⑩ 83

⑪ 63

⑫ 70

生命科学の画期的な技術…ゲノム編集(その1)―二人の女性の運命的な出会い― ⑦ 96

生命科学の画期的な技術…ゲノム編集(その2)―二人の女性の運命的な出会い― ⑧ 19

果物など植物ベースの食事と道具を使うチンパンジー
マーク・トウェインが愛した天使の食べ物スイカ ⑨ 65

探検家と庭師とイチゴ
キュー王立植物園と大英帝国 ⑩ 30

よくわかる農業気象(11)〜(16) 紺野 祥平 ⑪ 23

エルニーニョ/ラニーニャ現象 ⑫ 13

梅雨
降水確率 ⑫ 13

フェーン現象
暑さを表す言葉たち
霜と水蒸気の関係 ⑩ 73

農政の窓(145)〜(156) 秋葉 一郎 ⑧ 13

二二年度補正予算を決定 農水八七九五億円 米需給対策に大規模予算、輸出拡大も重点 ⑨ 67

二二年度予算を決定 農水二兆二七七七億円 水田活用同額確保 新規就農対策は刷新 ⑩ 24

通常国会召集、農水省、重要法案を提出へ「みどり」戦略。輸出促進巡り論戦へ ⑪ 78

政府・与野党、食料安保論戦に本腰 資材、食料安定調達巡り対応策競う ④ 77

政府、燃油価格高騰で施設園芸対策拡充 原油、飼料高で四月中に追加の緊急対策 ⑤ 87

政府、原油、物価高騰で緊急対策を決定 配合飼料基金積み増し、肥料の調達支援も ⑥ 79

自民党が食料安全保障策を政府に提言 予算別枠確保で肥料、飼料制度見直しを ⑦ 102

通常国会、参院選、資材高騰で論戦激しく 安保政策焦点、肥料はコスト増七割補填へ ⑧ 80

参院選で自民大勝、岸田政権の基盤が安定 予備費で肥料対策、食料安保議論本格化へ ⑨ 88

第二次岸田改造内閣が発足、農相に野村哲郎氏 農水省二二年度概算要求、二兆六八〇八億円 ⑩ 86

政府が食料農業農村基本法の見直しに着手 食料安全保障強化を重視 入依存脱却へ ⑪ 75

政府が経済対策決定、食料安保対策を強化、肥料原料の備蓄支援、飼料・穀物国産化推進 ⑫ 71

果樹園管理のポイント 川端 義実①〜⑫

ミカン 榎本 克樹①〜⑫

リンゴ 樋野 友之①③⑤⑦⑨⑪

モモ 中根 基貴①③⑤⑦⑨⑪

カキ 中根 基貴①③⑤⑦⑨⑪

中晩柑類

岡田聡一郎 ①③⑤⑦⑨⑪

キウイフルーツ

川北 兼奨 ①③⑤⑦⑨⑪

日本ナシ

押田 正義 ②④⑥⑧⑩⑫

ブドウ

三輪 由佳 ②④⑥⑧⑩⑫

クリ

中村 健吾 ②④⑥⑧⑩⑫

オウトウ

保科 絢子 ②④⑥⑧⑩⑫

一般

農研機構の果樹登録品種の「自家用の栽培向け増殖」は有償性になります

山本 俊哉 ① 84

新たな発想で果物消費拡大に貢献—「かんきつ中間母本農6号」「マコポン」

「国産キウイフルーツ小粒品種」を例に—

矢野 昌充・長谷川 美典・川崎あけみ ② 76

ミカンでめざす持続的な開発目標 (SDGs)

下方 宏史 ⑤ 78

果物のブランドと消費についての考察

小田 智弘 ⑦ 98

満州に運ばれた台湾産青果物

井上 敏孝 ⑫ 66

農業・食品産業技術総合研究機構、長崎県等、東京都農林水産振興財団、

九州大学、および民間等に係る種苗法に基づく登録出願公表品種及び登録

品種の利用許諾に関する業務の実施について (二〇二二年度実施要領)

(一社) 日本果樹種苗協会

⑫ 72